

✧ なつやすみの美術館15 ✧

美術 歴史 の の 歴史 美術

HISTORY OF ART & ART OF HISTORY

2025年7月12日[土]ー9月15日[月・祝]



①高井貞二《エミгранトの街》1940年 和歌山県立近代美術館蔵

プレス向け解説会のご案内 2025年7月12日(土) 11時～

プレス関係者を対象に解説会を実施いたします。ぜひ、この機会に取材していただき、魅力を発信してくださいようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当：青木加苗

広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>



WEB



Facebook



X



Instagram

なつやすみの美術館 15 美術の歴史と歴史の美術

美術と歴史はどうつながるの？

美術と歴史——ともに学校教育における科目や分野の名前です。これらに共通する部分があると感じたことはありますか？

美術作品にはそれが生み出された時代や社会、また人間の心のありようが映し出されています。私たちのまわりで起こるさまざまな出来事が、人が美術作品を生み出すきっかけとなることもあります。美術作品を見ることは、それらを深く知ることにつながります。

一方で美術作品のあり方は、作り手一人ひとりのなかで、あるいは作り手同士の関係を通じて、時代を追って変化していきます。それを私たちは「美術の歴史」、つまり人間が作り出した造形のあゆみとして見つめることで、過去を知る手がかりとしたり、また現在やこの先を見つめる糧にしたりできます。美術と歴史は、はじめから切り離せない関係にあるのです。

和歌山県立近代美術館はその名前にあるように、近代以降、つまり日本における明治から今日までの美術を収集の対象としています。近代のはじまりは世界の各地域によって異なりますが、それぞれの国が外国との関わりを強く意識することになった時代でした。日本にとっては西洋との関わりから、現代につながる美術という価値観が広がっていきます。

その間150年あまり、この国は大きな世界戦争を直接に経験し、その後ますます世界と大きく関わって、現在の私たちの社会を作り上げてきました。今の世界はひと昔前とどのように違うのか、また今の私たちがこの先どのような世界を作り出すのか、昭和という時代から数えて100年目、また戦後80年という節目のこの夏、開館55周年を迎えた和歌山の美術館としての目線で考えてみたいと思います。



②保田龍門《満州風景》1931年 和歌山県立近代美術館蔵



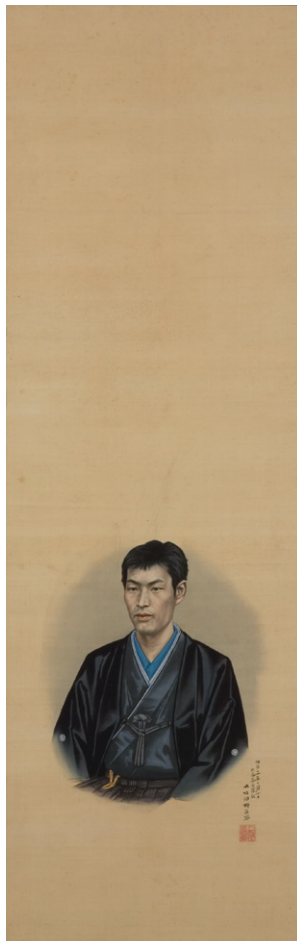
③石垣栄太郎《人民戦線の人々》1937年頃 和歌山県立近代美術館蔵

主な出品作品

掲載用画像については広報担当にお問い合わせください。
文字のせ、トリミング等にご遠慮ください。



④森村泰昌《美術史の娘、王女 A》1990 年
和歌山県立近代美術館蔵



⑤五姓田芳柳《相川鍋次郎守正肖像》1887 年
和歌山県立近代美術館蔵



⑥藤島武二《新高山の暁》1934 年 和歌山県立近代美術館蔵



⑦前川千帆《朝鮮金剛山》1940 年頃 和歌山県立近代美術館蔵

開催概要

展覧会名	なつやすみの美術館 15 美術の歴史と歴史の美術
主催	和歌山県立近代美術館
会場	和歌山県立近代美術館 1 階展示室
会期	2025 (令和 7) 年 7 月 12 日 (土) ～ 9 月 15 日 (月・祝)
開館時間	9 時 30 分～17 時 (入場は 16 時 30 分まで)
休館日	月曜日 (祝休日の 7 月 21 日、8 月 11 日、9 月 15 日は開館)、 7 月 22 日 (火)、8 月 12 日 (火)
観覧料	一般 600 (480) 円、大学生 330 (290) 円 () 内は 20 名以上の団体料金 * 同時開催の「和歌山をめぐるローカリズムとモダニズム」及び「MOMAW コレクション 現代の美術」も観覧可能 * 高校生以下、65 歳以上、障害者の方は無料 * 毎月第 4 土曜日 (7 月 26 日、8 月 23 日) は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 * 毎月第 1 日曜日 (8 月 3 日、9 月 7 日) は無料入館日

関連事業

▶ ギャラリートーク(担当学芸員がお話しします) *要観覧券

日 時: 7月19日(土)、8月24日(日)、9月13日(土) 各日14時～ 1時間程度

場 所: 和歌山県立近代美術館 1階展示室

▶ たまごせんせいとわくわくアートツアー(和歌山大学美術館部による鑑賞ガイド) *要観覧券

日 時: 8月13日(水)～17日(日)

各日11時～、13時30分～、15時～

45分～1時間程度

場 所: 和歌山県立近代美術館 1階展示室

▶ こども美術館部(小学生を対象とした作品鑑賞会)

日 時: 9月13日(土)、14日(日)*予定、両日同内容

11時～12時頃まで

場 所: 和歌山県立近代美術館 1階展示室

定 員: 各日先着6人程度(要申込、8月30日受付開始)

テーマ: アーとヒストリー

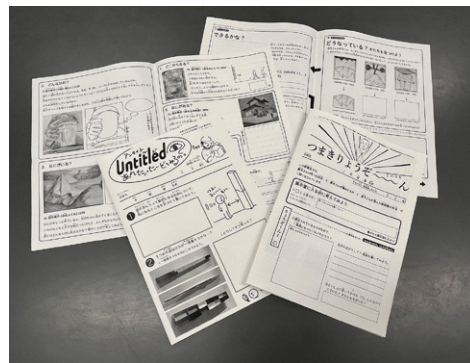


昨年度のたまごせんせいとわくわくアートツアー

ワークシート

「なつやすみの美術館」展では毎年、学校教員や美術館教育に関心を持つ有志による「和歌山美術館教育研究会」において作成したワークシートを配布しています。近隣の学校では夏季休暇中の宿題として活用されていますが、どなたでも会場で手に取って使っていただけます。

配布の開始は7月18日頃を予定しています。(展覧会開会当初は配布していませんのでご注意ください。)



過去のワークシート

同時期に開催の展覧会

▶ 和歌山をめぐるローカリズムとモダニズム

7月12日(土)～9月15日(月・祝)

▶ MOMAW コレクション 現代の美術

第2期: ～7月21日(月・祝)

第3期: 7月26日(土)～9月7日(日)

第4期: 9月12日(金)～10月19日(日)

▶ 県立博物館(となり)の展覧会

ぎおんなんかい

祇園南海の詩と書 ― 教養・芸術・心情 ―

6月14日(土)～7月21日(月・祝)

夏休みこども向け企画展 くらべてみよう!ふたりの絵

8月2日(土)～9月23日(火・祝)